

第 50 回福島問題研究会議事録（ダイジェスト版）

伊達 雅志(文責)

日時： 2020年7月23日（日）14:00～16:30

議題：

- (1) 第 49 回研究会議事録承認の件
- (2) 入手情報紹介・情報交換
- (3) 汚染水処理についての議論
- (4) その他

出席者：小林、横堀、橋本、中尾、松井、戸井田、郷、松田、牛尾、山下、伊達
(記) (敬称略)

(1) 第 49 回研究会議事録の件：第 49 回研究会の議事録を確認した。

(2) 入手情報紹介・情報交換

①映画「Fukushima 50」を見ての感想、感想文について意見交換（中尾）

- ・ 娯楽作品としては面白い。機会あれば見ておくと参考になる。
- ・ 菅首相、東電上層部の描き方がひど過ぎる感はある。
- ・ 管理が富岡西高出身者に任されているように思われ、サポート体制が脆弱に感じた。

②各電力会社の株主総会情報（横堀）

- ・ 9 電力の総会がほぼ一斉に開催された、ほとんどがオンライン総会。株主提案についてはすべて否決。
- ・ 東電の大株主のみ特殊で NDF。沖縄電力は原発なし。
- ・ 北海道電力：トリチウム排出ガス少な目に報告への反省を含む安全委員会の設置を株主から提案するも否決。
- ・ 東北電力：オフサイトセンターが移築改装され、避難訓練が行われている。設備面の強化よりも訓練参加者の運用で意識の変化が見られた。
- ・ 東電：廃炉に費用を集中すべきとの株主提案あり否決。起訴された 3 名の地裁判決は無罪→上告→秋に高裁。
- ・ 中部電力：石炭火力撤退の株主提案は否決。
- ・ 関電：執行と監査を明確に分離する（別指名委員会等設置会社への移行が可決された）
- ・ 九州電力：特重施設対応何とか間に合わせる

・ J-power : 大間凍結提訴→9/18 東北地裁

③発電お好み焼き (横堀)

- ・ 大阪府八尾の小学校の先生が作成された (経産協力)。
- ・ 原子力学会のメールニュースで配信されたもので、突っ込みどころは無きにしも非ずだが、各発電方式について問題点、状況が整理され、よくできている。

④第5のがん治療法 (横堀)

- ・ 東工大の野本助教授が7/11の東工大) 蔵前技術士会でBNCT (ホウ素中性子捕獲療法)のホウ素薬剤の改良: ポロノフェニルアラニン(BPA) +PVCの内容で講演された。
- ・ BNCT自身は昔からある技術で、脳腫瘍から適用され始めた。これは、日本では、開頭手術により取り切れないデリケート部分への補足 (併用) 療法 (帝京大の畑島中脳外科教授) として始まったが、皮膚がん (悪性黒色腫等) の根治に適用 (神戸大の三島先生)。
- ・ BNCTは、中性子と ^{10}B の反応から発生する α 線とLi原子核の飛程が $10\mu\text{m}$ 、 $4\mu\text{m}$ と短く、細胞1個のサイズに相当して、周りの正常細胞への影響がないことを利用するもの。
- ・ この技術で、ホウ素薬剤をがん細胞に集積できる (時間がたっても減りにくい: マウスによる実験で実証) ことから、人への適用が期待されている。
- ・ 実用化にはまだ時間がかかる。原子炉 (中性子加速器) が必要となり、開発中。これから、国内で2か所の施設ができあがる予定。
 - ・ 疑問点は以下の通り。

(3) 資源エネ庁募集中のパブリックコメント関連の議論

①ロシアのトリチウム濃縮技術 (電中研の常磐井さんらが提唱)

- ・ 6年前にNGとされた技術であるが、海水放出への風評から話題となっている模様。東電等からヒアリングを受けるという情報もあり。
- ・ 凍土壁で350億、長谷部先生の蒸留の試算はざっと数百億であり、設備費400億はわからないでもないが、変動費400億 (電気代) は高すぎる。
- ・ 6年前にNGとされた理由は、残差処理の問題 (金属にためる技術は米でやっているが日本ではやっていない) と地震対策であったはず。

- ・本研究会としては、当面静観する。

②トリチウム水の海洋放出

- ・トリチウムから出てくる β 線のエネルギーが低いことを危険性が低い理由としているが、トリチウムが共有結合（水素との交換）して生体内（DNA）に取り込まれた場合の危険性が確認できていない。

海外のトリチウム被爆のデータはあるので、データをまとめて危険性を評価すべき（戸井田）。

- ・DNAが1個壊れるとがん細胞、増殖する（通常は修復されるが修復または治癒しきれない）してがんとなる。この閾値を評価することになるが、谷田貝先生の講義等から答えが出るかは疑問（？）

- ・答えが出ない、時間がかかる可能性から、すでにある知見で体系的にマクロに、不評被害⇔社会学

- ・心理学・人間学・政治学的に整理する、疫学的調査なども意味があるのではないか。

- ・パブコメの延長では、もっと説得力のあるものを求めているはず。

（4）その他

①予定している橋本氏の論文は進める。（協力者：山下、伊達）

②原子力学会主催の講演会は、興味あれば各自で申し込む。（Zoom、TEMASTEAMS、WEBEXなど）

③次回の日程調整は世話役より後日メール。

以上